

2022年 7月号 (No.264)

平尾台自然観察センター

〒803-0180

福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40

TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739

✉ [hiradai@cronos.ocn.ne.jp](mailto:hiradai@cronos.ocn.ne.jp)

【開館時間】 9:00～17:00

【休館日】 月曜日 (祝日の場合は翌日)



# イベント報告

## 『大平山登山』 6月12日(日)

平尾台を代表する羊群原コースで大平山と岩山に登りました。この日の最年少6歳のお子様も野草やキノコを探しながら元気に歩きました。  
〈参加者〉一般 19名、ボランティア6名



大平山登頂



大平山

岩山でひと休み

## 『広谷湿原野草観察会』 6月19日(日)

梅雨の晴れ間に、ノハナショウブやカキランが咲く広谷湿原まで歩きました。道中の草原の草本も含めると約90種も見ることができました。  
〈参加者〉一般 16名、ボランティア 8名



広谷湿原



ノハナショウブ (アヤメ科)

## ボランティア活動報告

### 『YAMAPボランティア』 6月4日(土)

登山アプリのコミュニティ仲間が平尾台に集結！茶ヶ床園地周辺の外来植物駆除と健脚コースの草刈りの2チームに分かれて活動しました。  
〈参加者〉ボランティア31名



6月4日  
オオブタクサ駆除



6月4日  
ラクダ山 草刈り

### 『草刈りボランティア』 計4回

6月7日・17日・24日・30日の計4回、草刈り他植栽剪定や壁一面のツタの除去などをしました。  
〈参加者〉ボランティア (計4回) のべ31名



6月17日  
センター敷地内  
壁一面のツタの除去



6月24日  
千貫岩駐車場  
ツツジの剪定

# 7月の催し物

## 『梅雨のきのこ観察会』

【日時】 7月10日(日) 9:00～12:30  
森で梅雨期のきのこを観察します。きのこの女王「キヌガサタケ」に出会えるかも?!

## 『青龍窟ハイキング』

【日時】 7月16日(土) 9:00～15:00  
幾多の歴史と伝説が残る神秘的洞窟「青龍窟」東洞入口ホールを目指して歩きます。

## 『親子でドキドキ洞窟大冒険』

【日時】 7月31日(日) 9:00～15:00  
【料金】 小・中学生 1,500円 (対象:小学4年生以上)  
高校生以上 3,000円  
約3年ぶりに開催するケイビング体験です。自然のままの洞窟「不動洞」を探検します。

## 『散策コース整備ボランティア』

【日時】 7月9日(土) 9:00～12:00

### 《応募方法》

往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送。  
※複数名での申込み(4名まで)は、全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。  
中学生以下は保護者の参加が必要。  
※メ切は開催日の10日前まで必着。

### 7月・8月の休館日

7月4日(月)・7月11日(月)  
7月19日(火)・8月29日(月)

夏休み期間中は休まず開館しています。  
皆さまのお越しをお待ちしています。

## 『幻のへび』シロマダラ

夜行性で人目に触れることが少なく「幻のへび」とも言われるシロマダラの幼蛇に出会いました。過去に牡鹿洞でやはり幼蛇が見つかって以来の再会です。大人の蛇の目撃情報はまだないようです。



【撮影日】 6月30日

# 石のひつじだより

## 短い梅雨

史上最短の梅雨明け発表(6月11日頃～28日頃の17日間)。期間中の雨は5日程と、雨の少ない梅雨になりました。

【撮影日】 6月13日

カキラン (ラン科)

梅雨の始め 湿地周辺にしっかりと咲くカキラン

【撮影日】 6月29日

ネムノキ (マメ科)

梅雨明けとともに「せーのっ！」で開花したネムノキ



ムラサキ (ムラサキ科)



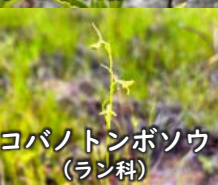
コキンバイザサ (キンバイザサ科)



ウツボグサ (シソ科)



オカトラノオ (サクラソウ科)



コバノトンボソウ (ラン科)



ゴウソ (カヤツリグサ科)



マイサギソウ (ラン科)



モウセンゴケ (モウセンゴケ科)

## 虫こぶ

変形した葉や茎。原因は、何者かからの刺激(虫などの分泌物や摂食)によるものと考えられています。虫こぶを形成したのは誰のしわざ?!

虫こぶの名前は、[寄主植物名] + [形成される部分] + [特徴] + [フシ] で命名されることが多い。



イボだらけのヌルデの葉  
ヌルデハイボケフシ



ふくらんだヤブレガサの茎  
ヤブレガサ  
クキフクレズイフシ



裏側に巻かれたヨモギの葉  
ヨモギハベリマキフシ

【形成者】 ヌルデフシダニ

タケウチケブカミバエ

ヨモギクダナシアブラムシ